

**企画展**

**箱根ジオパークをめざして**

— 箱根・小田原・真鶴・湯河原の再発見! —

2011年12月10日(土)  
～2012年2月26日(日)

箱根地域の地質をはじめとして、その大地の上に生きる動植物や、縄文時代から続く人の歴史まで、幅広い視点で箱根ジオパークの見どころを紹介します。

観覧料：無料(常設展は別料金)

**ミュージズ・フェスタ 2012**

2012年3月17日(土)・18日(日)

ミュージズ・フェスタは博物館の開館記念日を祝うお祭りです。ワークショップなど参加型の催しが盛りだくさんに用意されています。子どもも大人も楽しめるイベントですので、どうぞ皆さまお気軽にお越しください。

**博物館ちよこっと体験コーナー  
(愛称：ちよこな)**

毎週金曜日(午後のみ)・土曜日・日曜日  
10:00～12:00、13:00～15:00

展示に関係する内容のワークショップです。プラトンの紙飛行機を作って飛ばしたり、ムササビやフクロウのぬりえなどを体験できます。

**子ども自然科学ひろば  
「よろずスタジオ」**

3月を除く毎月第3日曜日 13:00～15:00

さまざまな実験や観察を通して、子どもたちが自然科学を身近に感じられるイベントです。※友の会との共催です。

**学芸員のとおきトーク**

毎週金曜日 11:00～11:30  
13:30～14:00

学芸員が展示室で奥の深い“はなし”をします。内容は、その日のお楽しみです。費用：無料(入館券が必要です)

**第99回サロン・ド・小田原  
「複成火山だった箱根二子山」**

2012年1月7日(土) 17:30～20:00  
講師：笠間 学芸員

サロン・ド・小田原は、第1部講演会・第2部交流会を通じて、学芸員や自然史の達人等と気軽に語り合う集いです。

時間：第1部 17:30～18:30  
第2部 18:40～20:00

費用：第1部 無料  
第2部 大人1,000円

申込：第1部当日受付(16:20～)、第2部事前申込(Fax:0465-23-8846 または 葉書〒250-0031 小田原市入生田499で、友の会事務局へ)  
※友の会との共催です。

**折り紙ひろば**

1月を除く毎月第1日曜日 13:00～15:00

学習指導員と一緒に、折り紙でさまざまな恐竜を折ります。

**催し物のご案内**

●室内実習「ダイバーのための魚類学講座」[博物館]

日時／①1月15日(日)・22日(日) ②2月12日(日)・19日(日) 9:30～16:00  
対象／高校生～大人 各回10人  
申込締切／①12月27日(火) ②1月24日(火)

●野外観察「冬の樹木ウォッチング」

[湯河原町城山]  
日時／1月14日(土) 10:00～16:00  
対象／小学4年生～大人 20人  
申込締切／12月27日(火)

●講義と室内実習「菌学事始め～初級編～」[博物館]

日時／①1月27日(金)・29日(日) ②1月28日(土)・29日(日) 10:00～15:00  
対象／中学生～大人 各回15人  
申込締切／①②とも1月10日(火)

●野外観察「早春の地形地質観察会」

[座間丘陵周辺]  
日時／3月4日(日) 10:00～15:00  
対象／小学4年生～大人 40人  
申込締切／2月14日(火)



早春の地形地質観察会 (2011年3月実施)

ライブラリー通信

**ずら～りカエルならべてみると…**

こばやしみずほ  
小林瑞穂 (司書)

日本にはなんと43種類ものカエルがいるそうです。『ずら～りカエルならべてみると…』(松橋利光 しゃしん/高岡昌江 ぶん)では、その43種類のカエルをずら～り並べて見ることができます。四つん這いで大きな口にギョロとした目が特徴的なカエルですが、並べてじっくり見くらべてみると、大きさや模様、顔つきも様々です。

カエルの正面からの姿だけでなく、オタマジャクシや後ろ姿、前足、後ろ足もずらりと並べられています。私は本書を読んでカエルの足の形が種類によって違うことに初めて気が付きました。足の指の数は前足が4本、後ろ足が5本で、後ろ足には泳ぐための水かきがある、というのが大体共通しているのですが、よく見ると指の形や吸盤の大きさが違ったり、前足にも水かきがあったり、それぞれ個性的です。

こうして並べて見ると日本のカエルは緑色や茶色が多く比較的地味なものが多いです。ではカエルがみんな地味な姿なのかというと、そんなことはなく、世界にはカラフルで派手なカエルもいます。例えばヤドクガエルの仲間は赤色や黄色、青色と派手な色をしていますし、アカメアマガエルは名前の通り赤い目に鮮やかな黄緑色の体をしています。ちなみに日本で一番美しいカエルと言われているのは、緑地に褐色のまだら模様のイシカワガエルです。イシカワガエルという名前ですが、石川県に生息しているわけではありません。奄美大島や沖縄の山奥、溪流やその周辺の森に生息しているカエルです。写真で見ると派手に見える模様ですが、岩に生えた緑色のコケの上にいると、まったく目立たず見つかるのが難しいそうです。美しいから目立つ、というわけではないんですね。

**催し物への参加について**

講座名、開催日、代表者の住所・電話番号、参加者全員の氏名・年齢を明記の上、往復はがきにて郵送、または博物館ホームページからお申込ください。応募者多数の場合は抽選となります。抽選で落選した方に対し、キャンセル待ちの対応を行います。ご希望の方は、お申込時に、その旨をご記入ください。参加費は無料ですが、講座により傷害保険(1人・1日50円)への加入をお願いすることがあります。複数日にわたる講座は、全日程への参加が条件です。野外観察は、雨天・荒天時中止になることがあります。

**問合せ先**

神奈川県立生命の星・地球博物館  
企画情報部企画普及課  
所在地 〒250-0031 小田原市入生田499  
電話 0465-21-1515  
ホームページ <http://nh.kanagawa-museum.jp/>